

書名 項目	新編 新しい社会 地理 2 東 書
教育基本法、学校教育法の下、学習指導要領の教科の目標とのかかわり	○写真やグラフ、地図などの資料で、本文の記述を補完し、基礎的・基本的な知識や概念を定着させ、地域的特色を明らかにするように配慮されている。 ○「地理にアクセス」「調査の達人」などを設け、話題になっている地理的事象や調査を進める上での技能などを示し、地理的な見方や考え方を育成するようになっている。 ○ページ初めで学習課題を提示し、章末に学習確認を行うことで、地域的特色に迫っていくようになっている。
特 内 容 色	<基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫> ○地図を中心教材として概観、課題を設定し追求、まとめという流れで、基礎的・基本的知識が習得できる展開となっている。毎時間の流れもこれに準ずる。また、章ごとの確認のページでは内容を問題形式にし、知識の定着を図るようにしている。用語解説も充実している。本文は丁寧でわかりやすい表現をし、用語解説も充実している。「地理スキル・アップ」を分割し、「調査の達人」のコーナーを設け、調査学習の技能を学ぶようにしている。 <思考力、判断力、表現力等を育成する工夫> ○見開き右下欄外の「確認」では、本時で学習した内容やキーワード等を活用しながら短い文章でまとめたり、説明したり、予想したりすることで、思考力・判断力・表現力の育成ができるようになっている。 ○「地域の調査」で各州・地方のまとめを行う際に、様々なまとめ方（ウェビングマップ・地図・表など）を提示している。まとめ方を学ぶことで、わかりやすくまとめる能力（思考力・判断力・表現力）の育成が図られている。 <主体的に学習に取り組む態度を養う工夫> ○生徒の学習意欲を高めるため、「えんぴつマーク」「地理にアクセス」や「ティーブレイク」を設けており、主体的に学習に取り組ませるようになっている。 ○知識力・理解力を高めるために、さらに深く単元に迫ろうとするためのテーマとなる「深めよう」を設け、本文の学習内容を基礎にして、さらに追求できるようにしている。 <地理的な見方や考え方の基礎を培う工夫> ○導入部で取り組む「ためしてみよう」で基礎的な技能を活用して地理的な見方ができるようにしている。 ○「学習課題」を示すことにより、地理的な考え方の道筋を示し、「確認」で学習内容を活用して表現できるようになっている。 <我が国の国土及び世界の諸地域に関する地理的認識を養う工夫> ○冒頭の写真・グラフ等に対する挿絵の人物の問いかけが、その地域の生活に対する地理的認識を発見する手がかりとなっている。 ○地域の人物のインタビューコラムから、そこで生活する人々の実態やその土地への対応・思いを感じられるように工夫している。
資 料 表記・表現	○各編第3章の諸地域学習には、世界の各州の導入部分にイラストを使用した地図や、自然や生活に関する写真が掲載され、日本の各地方の導入部分には各地方の「追究テーマ」に関連した写真が大きく掲載されている。 ○本文の理解を助ける「地理にアクセス」、地域で生活する人の様子を取り上げる「インタビューコラム」、余話を紹介した「ティーブレイク」などが掲載され、興味・関心を高めるよう工夫されている。 ○全ての地名と難解な固有名詞や社会科特有の用語などにはふりがなが付けられている。 ○資料に付した「図番号」を本文にも付すことで効果的に学習できるよう工夫されている。 ○色覚特性がある生徒にも判別しやすい色や形状を工夫し、ユニバーサルデザインに配慮している。
総 括	学習課題について写真、グラフ、地図などの資料を使って考え、まとめをすることで基礎的・基本的な知識・技能の習得を図っている。「地理スキル・アップ」「調査の達人」によって読図や作図などの技能を高め、「確認」や章末のみんなで考えるページで思考力・判断力・表現力等を高めるようになっている。

社会科（地理的分野）調査資料 1－2

書名 項目	中学社会 地理 地域に学ぶ 17 教 出
教育基本法、学校教育法の下、学習指導要領の教科の目標とのかかわり	○ページの初めに学習課題を提示し、「ふりかえる」で発展的な課題を提示することにより、地域的特色等を考察し、基礎的事項の確認、整理などの表現活動ができるようになっている。 ○各章のまとめで作業学習を取り入れたり、自分の言葉で表現させたりすることで、地理的な見方や考え方を育成するようになっている。 ○「地理の窓」や世界の各州や日本の各地方での事例をもとに、今日的課題に迫る特設ページを設け、個に応じた学習が進められるようになっている。
特 内 容 色 資 料 表記・表現	<基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫> ○見開きページの始めで資料と説明文から学習課題を導き出し、最後に「ふりかえる」のコーナーで整理することにより、基礎的・基本的知識を習得するようになっている。「身近な地域の調査」で地形図の見方や活用について取り上げている。「学習のまとめと表現」で節ごとの知識の定着を図るようにしている。 <思考力、判断力、表現力等を育成する工夫> ○見開き右下欄外に「ふりかえる（ステップ2）」が設定されている。地理的現象についての説明や話し合いなどの表現活動によって、思考力等を高めるようになっている。 ○単元の終わりに、「学習のまとめと表現」のページが設けられている。この課題を自分の言葉で説明することで、思考力・判断力・表現力等を育成できるようになっている。 <主体的に学習に取り組む態度を養う工夫> ○地域の話題や身近なできごとを紹介する「地理の窓」を設定して、興味・関心を高め、主体的に学習に取り組ませるようになっている。 ○学習した知識を生かし、より現実的なテーマに主体的に取り組める「地域から世界を考えよう」「現代日本の課題を考えよう」を設けている。 <地理的な見方や考え方の基礎を培う工夫> ○導入での「見てみよう」では学習のきっかけや追究の中心となる資料へを捉えたり、「読み解こう」で資料を読み取り考えを深めたりすることで地図やグラフから地理的な見方ができるようにしている。 ○「学習課題」を示すことにより、地理的な考え方の道筋を示し、おもに「ふりかえる」のステップ2で学習内容を活用して表現できるようになっている。 <我が国の国土及び世界の諸地域に関する地理的認識を養う工夫> ○冒頭に登場する挿絵の人物の問いかけが、その地域の生活に対する地理的認識を養うためのきっかけとなっている。 ○地域の人物の発言や「地理の窓」から、そこで生活する人々の実態、思いや地域の特徴をとらえるように工夫されている。 ○両開きの折込ページに、ダイナミックな衛星画像や伊能忠敬の日本地図、鳥瞰図などが掲載され、地図への興味・関心と資料活用能力を高めるように工夫されている ○巻頭の扉ページには、生徒が触って体感することができるように、点字の加工が施されている。 ○巻末の「用語解説」は、地理的用語を6項目に区分し、わかりやすく、詳しく解説するとともに、その用語が重要語句となっているページを参照できるように工夫している ○地名・人名等の固有名詞や社会科特有の用語などには、ふりがなが付けられており、第1学年の学習範囲には小6の学習配当漢字にもふりがなを付けることで、読みのつまづきが軽減するように配慮されている ○資料に付した「図番号」を本文にも付すことで、効果的に学習できるよう工夫されている。 ○色覚特性がある生徒にも判別しやすい色や形状を工夫し、ユニバーサルデザインに配慮している。
総 括	学習課題の提示や写真・グラフなどの諸資料、作業学習などにより、基礎的・基本的な知識・技能の習得を図るとともに、発展的な課題の提示や「ふりかえる」によって、個に応じた学習が進められるようになっている。また、「見てみよう」「読み解こう」で資料の読み取りや活用の力を段階的に高められるようになっている。

社会科（地理）調査資料 1－3

書名 項目	社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土 46 帝 国
教育基本法、学校教育法の下、学習指導要領の教科の目標とのかかわり	○写真やグラフ、地図などの資料で課題に迫り、地理的事象を体系立てて記述することで地域的特色を考察し、理解を深められるようになっている。 ○「技能をみがく」「やってみよう」を設け、地理的な見方や考え方の基礎を培い、「確認しよう」「説明しよう」で自ら考察できる力を身に付けられるようになっている。 ○ページの初めで学習課題を提示し、各地域学習の後に学習を振り返り、また「地域を探ろう」で地域的特色に迫っていくようになっている。
特 内 容 色	<基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫> ○導入部に各地域を代表する写真と地図を配し、学習する地域の大まかな地域像を把握できる。本文の記述は因果関係や背景をつかみやすい工夫され、「学習をふりかえろう」で作業を取り入れ、基礎的知識を習得できる。「技能を磨く」で具体例が示され、「やってみよう」で活用が図られている。 <思考力、判断力、表現力等を育成する工夫> ○見開き右下欄外に「説明しよう」という課題が設定されている。本時の学習を振り返り、説明の課題に取り組むことで、思考力・表現力の育成を図ろうとしている。 ○単元の終わりに「学習をふりかえろう」という課題が設けられている。学習内容を自分の言葉で説明することにより、思考力等を育成できるようになっている。 <主体的に学習に取り組む態度を養う工夫> ○写真の読み取り方を学ぶことにより、興味・関心を高め、主体的に学習に取り組ませるようになっている。 ○「トライアル地理」「地域を探ろう」などの発展学習のコーナーにより、さらに深く学習できるテーマを設けている。 <地理的な見方や考え方の基礎を培う工夫> ○「技能をみがく」の「やってみよう」を通じて写真や地図・グラフなどの資料の読み取り方などの技能を身につけ、地理的な見方の基礎が身に付くようにしている。 ○「学習課題」を示すことにより、地理的な考え方の道筋を示し、「説明しよう」で学習内容を活用して表現できるようになっている。 <我が国の国土及び世界の諸地域に関する地理的認識を養う工夫> ○写真や地図等に対する挿絵の人物の問いかけが、地理的特色に対する地理的認識を養うためのきっかけとなっている。 ○各地域で生活する人の話とそれにかかわる写真、各地域学習のはじめに掲載されている大きな写真により、そこで生活する人々の実態、思いや地域的特色を捉えるように工夫されている。
資 料	○図版、写真、イラストが大きく掲載され、生徒が読み取りやすく工夫されている。 ○見開き1時間ごとに、導入資料から浮かぶ「なぜ疑問」をキャラクターが発言することで、生徒が興味・関心を高めるよう工夫されている。
表 記 ・ 表 現	○難しい用語や熟語にはふりがなが付してある。 ○資料に付した「図番号」を本文にも付すことで、効果的に学習できるよう工夫されている。 ○メインキャラクターを男1名、女1名とし、登場の機会も同じ程度になるよう男女平等に配慮されている。 ○色覚特性がある生徒にも判別しやすい色や形状を工夫し、ユニバーサルデザインに配慮している。
総 括	学習課題について、考える視点を明らかにしながら、写真、グラフ、地図等を使って考え、「学習をふりかえろう」でまとめて、基礎的・基本的な知識・技能の習得、思考力の育成等を図っている。未来の社会をつくるための取組を共生・環境・防災というコラムとして掲載し、社会に寄与する態度を養うようになっている。

書名 項目	中学社会 地理的分野 1 1 6 日 文
教育基本法、学校教育法の下、学習指導要領の教科の目標とのかかわり	○世界の州ごとにテーマ、日本の地域ごとに視点を明らかにして、各時間の課題学習に結び付けて、地域的特色を理解させるようになっている。 ○授業時間ごとの課題を解決するために、写真・図版を読み取ったり、資料をまとめたり、考えたりすることによって、地理的な見方や考え方を育成するようになっている。 ○「地理プラスα」「自由研究」などの具体的事例や補充事例を通して、地域的特色や課題をとらえられるようになっている。
特 内 容 資 料 表記・表現	<基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫> ○本文横に地理的用語を紹介する「キーワード」を、学習のまとめに「チェックボックス」を設け知識の習得を図っている。章ごとの「学習の活用」では基礎的・基本的な知識の定着できるようにしている。「日本の姿」で基礎的な技能の習得が図れる。 <思考力、判断力、表現力等を育成する工夫> ○見開き右下欄外に「学習の活用」という課題が設定されている。「説明しよう」「予想しよう」等の課題に取り組むことで、思考力等の育成ができるようになっている。 ○単元の終わりに「学習のまとめ」という課題が設定されている。学習内容について自分の言葉で説明することで思考力・判断力・表現力等を育成するようになっている。 <主体的に学習に取り組む態度を養う工夫> ○全生徒の学習意欲を高めるため、「地理プラスα」を設けて興味・関心を高め、主体的に学習に取り組ませるようになっている。 ○「自由研究」「地域からのメッセージ」により、さらに深く学習できるテーマが設けられている。 <地理的な見方や考え方の基礎を培う工夫> ○「トライ」や「スキル UP」を通じて必要な技能を身につけ、地理的な見方の基礎が身に付くようにしている。 ○「学習課題」を示すことにより、地理的な考え方の道筋を示し、「学習の確認と活用」で学習内容の確認とそれを活用して表現できるようになっている。 <我が国の国土及び世界の諸地域に関する地理的認識を養う工夫> ○写真や地図等に対する挿絵の人物の問いかけが、地理的特色に対する地理的認識を養うためのきっかけとなっている。 ○様々な分野の人々にインタビューする「声」により、実際にそこに住む人々の思いや生活の様子を取り上げて、地理的認識を高めようとしている。 ○各種の主題地図・雨温図を、どの州・地方でも、体裁・配置・サイズを統一して掲載しており、州・地方内での対比、他の州・他の地方との比較を可能にすることで、地域的特色の理解を容易にしている。 ○巻末の「用語解説」は、地理的用語を6項目に区分し、わかりやすく、詳しく解説するとともに、その用語が重要語句となっているページを参照できるように工夫している。 ○資料に付した「図番号」を本文にも付すことで、効果的に学習できるよう工夫されている。 ○色覚特性がある生徒にも判別しやすい色や形状を工夫し、ユニバーサルデザインに配慮している。
総 括	学習課題に対して、写真、グラフ、地図などの資料を使って考え、「学習の確認と活用」により基礎的・基本的な知識・技能の習得を図っている。「地理プラスα」で現代のトピックスを伝え、「自由研究」で補充・発展的な学習を行わせ、個に応じて主体的に学習するようになっている。